

2大会同時開催

第36回 東京都トライアスロン選手権大会2025

「2025日本トライアスロン選手権東京港大会」

東京ブロック代表選考会・北信越ブロック代表選考会

「わたSHIGA輝く国民スポーツ大会2025(第79回国民スポーツ大会)」

トライアスロン競技東京都代表選考会及び 新潟県・長野県代表選考会

第4回 東京・海の森トライアスロン2025

(2025NTTトライアスロン エイジグループ・ナショナルチャンピオンシップシリーズ)

最 終 要 項

開催地 **海の森水上競技場**

開催日 **2025年6月15日(日)** 雨天決行

主 催 一般社団法人 東京都トライアスロン連合

目 次

■ 東京都知事ご挨拶	P.3
■ 日本トライアスロン連合会長ご挨拶	P.4
■ 主催者挨拶	P.5
■ 大会概要・実行委員会	P.5
■ 当日のタイムスケジュール・制限時間	P.6
■ 競技距離・表彰対象	P.7
■ NTTトライアスロン エイジグループ・ナショナル チャンピオンシップシリーズ	P.8
■ 競技に必要な物・支給品	P.8

■ 大会(競技)実施の決定等	P.9
■ その他(補償・軽食・トイレ他)	P.9
■ 東京トライアスロン選手権大会参加の方へ	P.10
■ 東京・海の森トライアスロン参加の方へ	P.11~13
■ 東京都トライアスロン選手権大会スタートリスト	P.14~15
■ 東京・海の森トライアスロンスタートリスト	P.16~22
■ 大会本部・トランジションエリア周辺図	P.23~24
■ 全競技コース図	P.25
■ 会場周辺MAP・アクセス・連絡先等	P.26

注 意 事 項

両大会共通 ※会場レイアウト(グランドスタンド・艇庫棟など)は本部周辺図(P.27)を確認ください。

1. バイクコースの一部である都有地(P.29全体コース図参照)は立ち入り禁止エリアです。大会当日、特別に占用使用の許可を頂いての大会開催となります。当日はもちろん普段の日も、立ち入り及び試走はできません。また、会場となる海の森競技場内もロードバイクでの走行は大会開催時以外、禁止となっております。何卒、ご理解・ご協力のほど宜しくお願いします。
2. バイクコースにエイドステーションはありませんので各自バイクボトルをご準備ください(ペットボトルは使用禁止です)。
3. バイクセットの際、トランジション入口ではヘルメットを着用してチェック(ストラップ緩み等確認)を受けるようにお願いします。
4. 計測用アングルバンドは試泳前にお渡しします。(配布場所は現在調整中です。当日審判員にご確認ください。)
5. バイクステッカーはサドル下の右側、ヘルメットステッカーはヘルメット前面と右側に貼付してください。
6. レースナンバーは、バイクは背面、ランは前面に表示してください(ナンバーベルト使用推奨)。
7. ボディナンバーはタトゥーシールを使用します。両上腕に審判員が確認できるように貼ってください。
8. ペナルティボックスはランコースに設けます。選手はご自身で、掲示されているナンバーを確認してフィニッシュする前にペナルティを消化してください。
9. 競技会場に通じる道路は、6月15日/8:20~13:00の間はバイクコースとして使用するため、交通管制を行います。この時間は車両の出入りは出来ませんのでご注意下さい。
10. バイク、ラン競技時における上半身裸は禁止です。
11. 一時荷物預かり所を受付近くに用意しますので、必要な方はご利用ください(有料200円/袋)。
12. 大会参加のために発生したゴミは大会側で用意した所定のゴミ箱に分別して捨ててください。ご自身がお持ちになったものから発生したゴミは必ずお持ち帰りくださいますようご協力をお願いします。
13. エイジトランジションの設置エリアを含め、スイム会場前(ポンツーン前)の地面は表面が傷つきやすい路面形状(インターロッキング)になっています。この路面を傷つけるようなバイクシューズ(クリートから金属部が突起している)は利用禁止させていただきます。
14. 競技に用いるバイクはロードレーサーを基本とします。(日本トライアスロン連合競技規則_第90条参照)
15. フロントジッパーのユニフォームも着用可能です。ただし、ジッパーの長さは40cm以内とし、フィニッシュ手前200mはジッパーを上げてフィニッシュしてください。バイク・ランは上半身裸で競技できません。

祝 辞

東京都知事
小池 百合子



「第36回東京都トライアスロン選手権2025 第4回東京・海の森トライアスロン2025」の開催、誠におめでとうございます。東京2020大会のレガシー施設である「海の森水上競技場」で開催されるこの大会が、都民に広く親しまれる大会として定着するとともに、トライアスロン競技の普及発展に大きく寄与することを期待しています。

参加する選手の皆さん、これまでの厳しい練習の成果を存分に発揮してください。競技を通じて、トライアスロンを愛好する仲間との交流が一層深まり、思い出深い大会となることを願っております。

スポーツは、私たちの生活に活力を与えてくれます。全ての都民・国民の皆様が、スポーツを通じて感動を分かち合える「スポーツフィールド・東京」の実現に向け、取組を更に加速させてまいります。いよいよ今年の秋には、世界陸上とデフリンピックが東京で開催されます。スポーツを盛り上げ、世界中から集まる人々と交流し、笑顔と希望に満ちあふれる未来を一緒に創り上げていきましょう。

結びに、本大会のご成功と、一般社団法人東京都トライアスロン連合をはじめ関係者の皆様のますますのご活躍を祈念してご挨拶いたします。

ご挨拶

公益社団法人 日本トライアスロン連合

会長 岩城 光英



第36回東京都トライアスロン選手権／第4回東京・海の森トライアスロン2025（2025 NTTトライアスロン エイジグループ・ナショナルチャンピオンシップシリーズ SD/SP）の開催を心よりお祝い申し上げます。

本大会の開催にあたり、長年にわたり大会運営にご尽力されてきた実行委員会の皆さま、関係各位のご尽力に深く敬意を表します。

本大会は、東京湾に臨む「海の森水上競技場」周辺を舞台にした都市型トライアスロン大会であり、東京2020オリンピック・パラリンピックのレガシーとして注目を集める貴重な大会です。東京都選手権を兼ねた本大会では、エリート選手から一般参加者まで、幅広い層の選手が挑戦し、日々の鍛錬の成果を発揮する場となります。臨海部の景観やまっすぐな道路を活用したコースは、トライアスロンの魅力を存分に体感できる設計となっており、都心にいながらにして、ダイナミックなレースが展開される点も大きな特徴です。

日本トライアスロン連合（JTU）は昨年、設立30周年を迎え、現在では年間約450の大会が開催され、競技登録者数は3万5千人、愛好者は37万人を超えるまでに成長しています。このような競技の広がりを支えているのは、本大会のように地域と一体となって開催される大会の存在に他なりません。

また、我々は競技団体として、昨年から競技登録者に対して自動付与される「トライアスロン安全保険」設定を開始しました。中央競技団体として大会運営の安全性を高めるとともに、今年度より開始した、加盟団体向けニュースレター「Triathlon Japan Today」等も活用し、全国各地で活動する仲間同士のつながりを大切に、横の連携を強化しながら、より一体感のある安心・安全のトライアスロンコミュニティを育んでいきたいと考えております。

本大会が多くの参加者にとってかけがえのない体験となり、地域の発展に貢献するとともに、ご参加の皆さまが心身ともに満たされ、笑顔でゴールを迎えられることを心より願っております。

そして、開催を支えてくださる主催者の皆様、ボランティアの皆様に、あらためて深く感謝申し上げます。

主催者あいさつ

選手の皆さま、本大会にご参加いただき誠にありがとうございます。そして大会開催にあたり、東京都はじめ各関係機関並びに地元の事業者様、協賛企業及び協力企業・協力団体の多くの皆様のご理解・ご協力のおかげで、開催の運びとなりましたこと、主催者を代表して厚く御礼申し上げます。

先ず、この大会プログラム（最終要項）は、本大会に参加される皆様が安全に楽しんでいただくための競技ルールや注意事項等が記載されております。必ず事前の一読のうえ、ご参加くださいますよう、よろしくお願いいたします。

さて、今年で4回目となる海の森水上競技場でのトライアスロン大会は、「第36回東京都トライアスロン選手権」と「第4回東京・海の森トライアスロン2025（2025NTTトライアスロンエイジグループNCS）」の併催大会です。都心での開催実現という多くの関係者の想いを胸に、皆様の熱い応援で選手の最高のパフォーマンスをさらに引き出し、トライアスロンを謳歌して頂けたら幸いです。

今年3月28日には「海の森公園」も開園されました。海の森水上競技場と併せ循環をテーマとするこのエリアはますます進化を続けていくこととなります。「海の森リピーター」として倍旧のご支援を何卒よろしくお願い申し上げます。

それでは大会当日、皆様と笑顔でお会いできることを心よりお待ちしております。

一般社団法人 東京都トライアスロン連合会長

大会会長 大村 真人

主	催	： 一般社団法人 東京都トライアスロン連合（以下TMTU）
後	援	： 東京都、公益社団法人東京都障害者スポーツ協会、江東区、江東区体育協会、 特定非営利活動法人日本ビーチ文化振興協会、公益社団法人日本トライアスロン連合
協	賛	： 天乃屋、大塚製薬工場、大森造園建設、ローソン、味の素、Champion System Japan、 フォトクリエイト
協	力	： 海の森水上競技場事務所、警視庁東京湾岸警察署、東京消防庁深川消防署、日本財団、 昭和大学江東豊洲病院、シンテイ警備株式会社、チームペガサス、エスビーアール、 ネオシステム、シーフォース、新潟県トライアスロン連合、長野県トライアスロン協会、 日本トライアスロン連合東京ブロック協議会、江東区トライアスロン連合、Tailwind、 スリーコンペティション、正協印刷

【大会実行委員会】	■大会顧問	岩城 光英（日本トライアスロン連合会長）
	■大会会長	大村 真人（TMTU会長）
	■大会実行委員長	川添 勝（TMTU専務理事）
	■レースディレクター	片倉 義之（TMTU理事）
	■技術代表	成塚 朋也（選手権大会／エイジ大会）
	■審判長	北野 健二（選手権大会／エイジ大会）
	■大会審議委員	成塚 朋也、川添 勝、大村 真人

当日のタイムスケジュール

■ 第36回 東京都トライアスロン選手権大会 2025

7:15 ~ 選手権受付開始
 7:25 ~ トランジションオープン
 8:40 ~ 男子競技
 9:15 ~ 女子競技
 12:00 ~ 表彰式

■ 第4回 東京・海の森トライアスロン 2025

8:00 ~ 9:30 スタндарт受付開始
 8:15 ~ 9:55 スタндартトランジションオープン
 8:30 ~ 10:00 スプリント受付開始
 8:45 ~ 10:30 スプリントトランジションオープン
 9:55 ~ 開会宣言(於:スイムエリア)
 10:05 ~ スタндарт競技
 10:50 ~ スプリント競技
 13:30 ~ 表彰式

ご自身のウェーブは
当日再確認ください。

スタート	ウェーブ	No.	カテゴリー	スタートからの制限時間目安		
				スイム	バイク	ラン
10:05	W1-1	61 - 159	スタンダード 男子 (20-49)	スタートから 60分	スタートから 2時間45分	スタートから 3時間45分
10:09	W1-2	160 - 245	スタンダード 男子 (50-59)			
10:13	W1-3	246 - 288	スタンダード 男子 (60-)			
		289 - 318	スタンダード 女子			
		601 - 606	スタンダード リレー			
10:50	W2-1	319 - 384	スプリント 男子	スタートから 30分	—————	スタートから 2時間30分
		385 - 395	スプリント 女子			
		396 - 407	スプリント 高校生			
		607 - 608	スプリント リレー			
10:55	W2-2	609 - 612	スプリント パラ	※パラの部の制限時間は検討中。		

**お車でお越しになるすべての選手は交通規制開始前の 8:15 までに
必ず海の森水上競技場に入る必要があります。**

また交通規制の間は選手全員の安全確保のために、緊急車両以外は交通規制の対象となります。
車両の出入りは出来ませんのであらかじめご了承ください。

交通規制
時 間

6月15日 8:20 ~ 13:00

競技距離・表彰対象

■**競技距離** ※バイクコースの一部が変わる場合があります。変更時は大会当日までに大会HPなどでお知らせします。

◎選手権大会：ドラフティング許可レース

スプリント	スイム：750m（1周回） バイク：20km（4周回） ラン：5km（2周回） （合計 25.75km）
--------------	--

◎エイジ大会：ドラフティング禁止レース

スタンダード	スイム：1,500m（2周回） バイク：40km（8周回） ラン：10km（4周回） （合計 51.5km）	スプリント	スイム：750m（1周回） バイク：20km（4周回） ラン：5km（2周回） （合計 25.75km）
---------------	--	--------------	--

■**表彰対象** ※入賞商品は当日渡しのみ（加盟団体対抗戦を除く）となります。表彰式にて表彰状をお渡しします。

●東京都トライアスロン選手権大会2025として

◎選手権大会：総合男女各1～6位 ※東京都登録（学連含む）による別途表彰あり

●東京・海の森トライアスロン2025として

◎スプリントディスタンス

パラ部門：1位～3位（カテゴリー別）

高校生：1位～3位（男女別）

一般男子：総合1位～3位

一般女子：総合1位～3位

リレー：1位～3位

◎スタンダードディスタンス

一般男子：総合1位～3位、年齢別（5歳刻み）各1位

一般女子：総合1位～3位、年齢別（5歳刻み）各1位

リレー：総合1位～3位

●2025NTTトライアスロンエイジグループ・ナショナルチャンピオンシップシリーズとして

◎スプリントディスタンス、スタンダードディスタンス

※こちらはランキング制度に従い、男女別5歳刻みとしてリザルトのみ公表します。

※同シリーズに関しては次頁（P.8）参照。

NTTトライアスロン エイジグループ・ナショナルチャンピオンシップシリーズ

東京・海の森トライアスロン2025は、2025NTTトライアスロンエイジグループ・ナショナルチャンピオンシップシリーズ(エイジNCS)対象大会です。

■NTTトライアスロンエイジグループ・ナショナルチャンピオンシップシリーズ (スタンダード/スプリント)

1. 対象選手：日本トライアスロン連合主催・共催大会(シリーズ対象大会)に出場したエイジグループ選手 (2024年度都道府県競技団体・学連登録者)
2. 男女とも「5歳刻み年代別(24歳以下、25-29歳、30-34歳、35-39歳、40-44歳…)」のカテゴリーを設ける。
3. 対象年齢 カテゴリー男女とも「年代別(18-19歳、20-24歳、25-29歳、30-34歳、35-39歳、40-44歳…80-84歳、85-89歳、90歳-)」のカテゴリーを設定。※年齢は当年の12月31日現在基準
4. エイジ選手の完走者が対象。総合順位がない選手、TOV(タイムオーバー)・DSQ(失格)・DNF(途中棄権)・SKIP・RES・OPENの選手は除外して計算する。
5. その他

ランキングポイントシステム詳細は各カテゴリーのページをご覧ください。

スタンダード <https://www.jtu.or.jp/rank/category/age/>

スプリント https://www.jtu.or.jp/rank/category/age_sprint/

ロングディスタンス https://www.jtu.or.jp/rank/category/age_long/



シリーズ参加特典

- 1) 2025エイジNCS【SD】ランキング各年代別1位(男女)

2025エイジNCSチャンピオンジャージの授与

- 2) 2025エイジNCSランキング【SP/SD/LD】各年代別1-6位(男女)

表彰状を授与(日本トライアスロン連合事務局から対象選手所属加盟団体へ翌年3月頃発送予定)

日本トライアスロン連合関東ブロック・東京ブロックNCS同時開催

両ブロック内の8大会(本大会もその1つ)を対象に、完走者にポイントを付与し、8大会終了後に順位が決定されます(5歳刻み、男女別3位、表彰状授与)。

詳細は下記をご確認ください。

https://www.jtu.or.jp/?p=62179&post_type=news&preview=1&_ppp=a0990593ef

競技に必要な物・支給品

競 技	各自持参	レース当日大会で支給
スイム	●スイムウェア ●ゴーグル ●ウェットスーツ (ウェットスーツの着用は任意です。) 東京都トライアスロン選手権大会参加選手は、2025WT競技規則変更点を適用し、スイム競技中での腕時計の使用を禁止します。	●スイムキャップ ●アンクルバンド(計測チップ) ●ボディナンバーシール 2枚 ●ナンバーカード 1枚 (バイク背面、ラン前面、ナンバーベルト使用を推奨)
バイク	●ロードバイク ●ウェア ●バイクボトル(ペットボトル使用禁止) ●ヘルメット(着用義務) ●サイクルコンピューター(推奨)	●ナンバーステッカー3枚/人 (バイク・サドル下の右側、ヘルメット前面および右側)
ラン	●ランニングウェア ●シューズ (上半身裸などで走ることは禁止します。)	●アミノバイタル 1本/人

※ナンバーベルトの使用を推奨します。

※アンクルバンドは、競技中必ず着用してください(着用していない場合は、タイムを計測できないため記録が取れません)。また、競技終了後Finish地点にて回収いたします。

受付時に支給品をご確認ください(上記以外、協賛協力団体支給品各種、昼食チケット)。

●アンクルバンド：試泳前に配布します。左右どちらの足首につけても構いません。アンクルバンドを受け取りましたら、スタートエリアからの移動はできませんのでご了承ください。

大会(競技)実施の決定等

原則雨天決行としていますが、悪天候の場合は大会当日05:50に競技実施検討会を開催し、開始・遅延・中止等のアナウンスを会場にて行います。

気象状況、天災、官公庁指示等によっては、競技中であっても、競技の中止、距離短縮、競技種目の変更などもあります。何卒ご理解とご了承のほどお願いします。

その他

■ 昼食

参加選手の皆様には、1人1枚の海の森チケット(800円相当分)を準備しております。大会当日、受付時に食事券をお渡ししますので、フィニッシュ後にグランドスタンド裏側のキッチンカーでお好みの食事と交換してください。800円を超える分については差額をご自身でご負担ください。食事はグランドスタンドまたは艇庫棟2階の食堂座席をご利用ください。

■ 大会保険について

本大会では大会保険に加入します。

引受保険会社：AIG損害保険株式会社、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社(賠償大会保険)

補償内容：死亡・後遺障害1,500万円、入院給付金日額5,000円(180日限度)、通院給付金日額2,500円(90日限度)、賠償大会保険5億円

また、2025年度トライアスロン都道府県競技団体・学連登録者にはトライアスロン安全保険が自動付帯します。詳しくは右記をご覧ください。<https://www.jtu.or.jp/join/insurance/safetysports>

■ トイレ

グランドスタンド1階にあるトイレをご利用ください。また、艇庫棟1階の更衣室近くにもトイレはございますが、競技中は通行規制をする場合がございます。レースならびに来場者安全確保にご協力をお願いいたします。

■ 更衣

更衣室は艇庫棟1階にあります。なお、シャワーは利用できますが、ロッカーは使用できません。

■ ゴミ

ご自身のゴミはお持ち帰りいただきますようご協力をお願いいたします。また極力ゴミを排出しないよう、エコ活動にもご理解をお願いいたします。なお、大会で用意したお弁当の空き箱については配布場所にて回収いたします。

■ スタートリスト

確定次第、大会ホームページ(<https://www.mspo.jp/uminomoritr/>)に掲載いたします。

■ 写真撮影

大会主催者から特別に許可を得た業者等が写真撮影を行います(スタッフ用ビブスを着用しています)。業者が撮影した写真は、インターネットで購入が可能となります。

また、審判員などが記録等のために写真を撮影することがあります。撮影された写真の帰属はTMTU及び大会実行委員会とさせていただきます。TMTUのSNSやホームページ等で使用させていただく場合があります。写真の公開が不都合な選手は、事前にTMTU事務局にお申し出ください。

■ 不参加の際の大会支給品

大会に不参加となった選手が、大会支給品(軽食等の飲食物を除く)の発送を希望される場合は着払いで受け付けます(大会終了後2週間以内で受付終了とさせていただきます)。東京都トライアスロン連合事務局までご連絡ください。

■ 完走証・リザルト等

公式リザルトは確定次第、大会ホームページに掲載いたします。また、完走証は、ご自身でホームページより入手ください。

東京都トライアスロン選手権大会参加の方へ

競技ルールは日本トライアスロン連合競技規則(2025WT競技規則変更点を含む)に準じます。必ず目を通しておいください。
以下のURLからダウンロードできます。

日本トライアスロン連合競技規則 https://archive.jtu.or.jp/jtu/pdf/rulebook_20190123.pdf

ユニフォーム <https://www.jtu.or.jp/wordpress/wp-content/uploads/2022/06/EliteUniform.pdf>

シューズ https://www.jaaf.or.jp/pdf/about/rule/2022_all.pdf

●競技説明資料

競技説明資料を大会ホームページに掲載します。途中でキーワードが出てきますので、その画面を撮影するかキャプチャを実施いただき、受付時にご提示ください。そのことをもって競技説明資料を確認したものとみなします。

●日本トライアスロン連合競技規則に則り水温に応じた競技ユニフォームの着用となります。ウェットスーツの着用可否は当日7時30分の水温計測にて決定します。(水温20℃以上でウェットスーツ使用禁止。例年の水温データからウェットスーツ着用は不可と予想されますが、上半身は必ずレースウェアを着用しての競技となります。)

●競技で使用するユニフォーム、バイク、ヘルメット、シューズは大会当日確認します。事前に日本トライアスロン連合競技規則(2025WT競技規則変更点を含む)に目を通しておいください。

(参考) バイク : 日本トライアスロン連合競技規則_第90条

ユニフォーム : (日本トライアスロン連合競技規則_附則 F1)

シューズ : ソールの最大厚さ40mm(日本陸上競技連盟競技規則 TR 5.競技用靴5.2)

●選手権は受付時に両上腕用のボディナンバーシールを配付します。

●ホイールステーション(WS)はバイクコースに設置します(P.26コース図参照)。必要な方は番号・名前等明記の上、各自持参してセットしてください。WS2(ニュートラル)はありません。

●バイクDNFの選手は、必ず歩道を歩いて戻ってください。アンクルバンドは審判員に手渡すか、競技本部まで届けてください。

●競技終了後、レースギアは速やかに回収してください。(東京・海の森トライアスロン競技開始前までに)

●ドラフティングレースで使用できるバイク条件は下図の通りとなります。

●スイムのフォールススタート等の違反はT1でタイムペナルティ、それ以外はランコースのペナルティボックスでタイムペナルティを適用します。

●トランジションのバイクラックはサドル掛けとします。(ブレーキレバーやハンドル掛けはタイムペナルティの対象)

●選手権はドラフティング許可レースですが、異なる性別の選手へのドラフティング行為は違反です。1回目の警告と是正ののち、2回目の警告を受けた場合失格(DSQ)となります。

●スイムのフォールススタート等の違反はT1でタイムペナルティ、それ以外はランコースのペナルティボックスでタイムペナルティを適用します。

ドラフティングレースで使用するバイク

◎ディスクホイールの使用は禁止です。

ドラフティング許可大会(エリート、U23、ジュニア、ユース)では、ホイールはUCI承認の非伝統的ホイールリストに示されるホイールを使用することができる。(競技規則参照)。このリストにないホイールは、次の基準を満たさなければならない。

(1)タイヤ部分を含めて最大直径70cm、最小直径55cmであること。

(2)両方のホイールが同じ直径であること。

(3)ホイールは少なくとも20本のメタルスポークがあること。

(4)リムの最大寸法が前後とも25mmであること。

(5)リムはアロイ(金属製)であること。

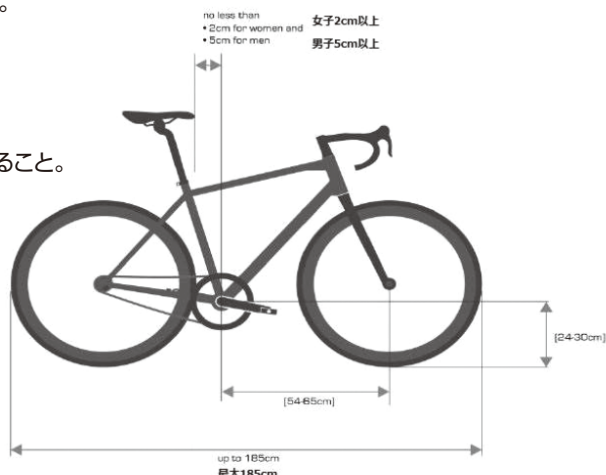
(6)全てのコンポ(装備品)は識別でき、商業的に入手できるものであること。

◎ディスクブレーキを使用することができる。

以上に適合しないバイクでは出場できません。不明な点は、レース当日トランジション担当審判員に尋ねてください。

サドルポジション

◎サドルの最前面のポイントに触れる垂直線は、チェーンホイール軸の中心を通る垂直線の後方、男性は5cm以上、女性は2cm以上とし、選手は競技中にこれらのラインを超えてサドルを調整してはならない。



東京・海の森トライアスロン参加の方へ

競技ルールは日本トライアスロン連合競技規則(2025WT競技規則変更点を含む)に準じます。

https://archive.jtu.or.jp/jtu/pdf/rulebook_20190123.pdf

■注意事項

- ◎ウェットスーツの着用は任意です。
- ◎ドラフティング禁止です。安全を優先して監視しますので、ローカルルールに則ってバイク競技を行ってください。
- ◎スイム、バイク、ランの制限時間を設けています。詳しくはP.7の制限時間をご覧ください。
- ◎トランジションエリアには競技に関係ない荷物は置かないでください。競技の妨げになる場合は審判員が、選手に断りなく荷物を移動させることがありますこと、ご了承ください。
- ◎レスチューブの使用を許可します。使用した場合のリザルトなどについてはP.12の詳細を必ずご確認ください。

■受付について

- ◎どのカテゴリーの方も、開門時間以後～交通規制開始前8:15までに会場に入る必要があります。以後の出入りは交通規制解除13:00までできません。あらかじめご了承ください。
- ◎受付場所は、グランドスタンド1階(駐車場側)にあります。

■選手待機場所

- ◎グランドスタンドの座席を、選手の待機場所とさせていただきます。
- ◎飲食は可能ですが、ゴミの持ち帰りにご協力ください。

■レース前の準備

- ◎ナンバーカードは1枚、バイク競技で背面、ラン競技で前面に表示するようにしてください(ナンバーベルト推奨、安全ピンの使用は禁止します。トランジションなど素足で歩く場所があり危険防止のため)。
- ◎ヘルメットステッカーはヘルメット前面および右側に貼付してください。
- ◎バイクステッカーはサドル下の右側に貼付してください。
- ◎ボディナンバーシールは両上腕に貼ってください。
- ◎受付にて、ご自身で両手の甲にレースナンバーをナンバリング(記載)してください。



■ユニフォームルールについて

- ◎フロントジッパーのユニフォームも着用可能です。ただし、ジッパーの長さは40cm以内とし、フィニッシュ手前200mはジッパーを上げてフィニッシュしてください。バイク・ランは上半身裸で競技できません。

■大会ルールについて

- ◎基本的に日本トライアスロン連合競技規則(2019年1月改訂版)および2023WT競技規則変更点に従って実施いたします。また、この最終要項に記載されている事項および競技説明動画をローカルルールとして採用します。協議が必要な事項が発生した場合は、審判長の裁定及び審議委員会にて判断いたします。

■競技参加の流れ

<全カテゴリー共通>

- ◎まず来場されたら、グランドスタンド棟で受付を済ませてください。艇庫棟1階の更衣室を利用することが可能です。
- ◎トランジションオープンの時間になりましたら、競技に必要なもののみをトランジションにセットしてください。
- ◎ウェットスーツの着用は任意となります。
- ◎準備ができればスイムエリア近くの艇庫棟付近に移動し、アンクルバンドを受け取りスタートエリア待機場所で待機下さい。(アンクルバンドの受け取り場所は現在調整中です。大会当日ご確認ください。)
- ◎試泳は審判員の合図で入水し、スタートラインまでの約100m(スプリントは50m)が試泳区間となります。
- ◎試泳が終了したら、スイムスタート待機エリアにて待機してください。
- ◎バイク競技では、ナンバーカードを背面にしてスタートしてください。

- ◎ラン競技では、ナンバーカードを前面に見えるように着用し、ランの準備をしてランスタートしてください。
- ◎フィニッシュ後、アンクルバンドを回収します。
- ◎各種目の周回数はご自身で管理してください。周回数が不足している場合は、DSQ(失格)となります。また、周回不足のままフィニッシュした場合はコース復帰できませんのでご注意ください。
- ◎バイク・ラン競技中では、競技者によるイヤホンの使用やスマホ等での写真／動画撮影は禁止します。
- ◎審判員やスタッフへの暴言や選手同士での妨害行為など、本大会参加に相応しくない行為があった場合、該当する選手はDSQとなります。スポーツマンシップに則り、笑顔でフィニッシュできるよう、皆様のご協力をお願いいたします。

■ スイム競技

- ◎スタートはフローティングによるウェーブ毎の一斉スタートです。陸上審判と海上ボートにてスタートラインを構成しますので、そのラインより後方の水中で待機頂きます。スタートまでは救助ボード等につかまる事は問題ありません。
- ◎入水は、足からの立ち飛び込みをお願いします(頭からの飛び込みは禁止)。
- ◎スイムコースは、時計と反対周り、周回は一旦陸に上がって、計測マット通過後、スタート地点から再度、足からの立ち飛び込みで入水してください(頭からの飛び込みは禁止)。
- ◎審判員やライフガードには、安全対策上、競技中止の権限を付与していますので指示に従ってください。
- ◎自信のない方は後方からゆっくりスタートしてください。
- ◎タイムオーバーの選手は、その時点で競技終了となります。

スキップについて

大会(スタンダード、スプリントとも)では、事前申告、試泳後、1周後(スタンダードのみ)のスイムスキップを適用します。

大会において「スキップ」とは、スタート前にスイム辞退者がバイク以降の競技に参加する制度で、記録上は完走とはなりません(DNF扱い、リザルト表示は「SKIP」)。

- ・スイムスキップ希望者は上記それぞれのタイミングで審判員にスキップを選択する旨を申告してください。
- ・審判員の指示に従って、トランジションエリア付近の所定の場所(赤いSKIP旗が目印)にスタンダード10:55までに、スプリント11:10までに集合・点呼・アンクルバンド受領・ナンバーカードにマーキング・スタンダード11:00、スプリント11:15に一斉スタートを予定しています。

レスチューブの使用について

「レスチューブ」とは、超小型・軽量の膨張浮力体です。

本大会でも、スイムの安全対策としてレスチューブの着用を許可します。ご利用の選手はご自身で事前のご準備をお願い致します。詳細はこちらからご確認ください(<https://www.mspo.jp/uminomoritr/>)。使用にあたり以下ローカルルールを適用します。

- ・レスチューブを装着し膨張させなかった場合は、装着しない場合と区別なく、計時・順位の記録を行います。
- ・レスチューブを使用した(膨張させた)場合、競技は継続できますが、参考記録(リザルトの表示は「RES」)となります。
- ・レスチューブを膨張させたまま浮き具として利用した場合、安全のため、膨張させたレスチューブにつかまったままでないとい進めない選手については、確認の上救助引き上げを行います(記録は失格「DSQ」となります)。

■ バイク競技

- ◎エイジトランジションの設置エリアを含め、スイム会場前(ポンツーン前)の地面は表面が傷つきやすい路面形状(インターロッキング)になっています。この路面を傷つけるようなバイクシューズ(グリートから金属部が突起している)は利用禁止させていただきます。
- ◎周回数は選手自身の自己管理となります。サイクルコンピューターの使用を推奨します。(周回数が多いので注意してください)
- ◎コースは一部道路を使用します。車両や人の横断等にも十分注意して走行してください。また、コースの段差等にも注意してください。安全確保は、選手一人一人の義務です。
- ◎バイクボトルを落とさないよう注意してください。落とした場合は、バイクをコース端の安全な場所に止め、歩いて回収してください(放置した場合はペナルティの対象となります)。
- ◎バイクをラックから外す前にヘルメットのストラップをしっかり締めてください。
- ◎乗車ライン手前でバイクに乗ってはいけません。乗車時は地面に片足が完全に着地してから乗車してください。自信のない方は、コース端に寄って、慌てずにゆっくり乗車してください。降車時は、降車ライン前の地面に片足が完全に着地してから降車してください。

- ◎ドラフティング走行（前走者を風よけにして、楽に走ろうとすること）は禁止です。バイク前輪の最前部が、先行していたバイクの前輪の最前部より前方に出たとき「追い越した」とみなされます。追い越しを試みる場合は、先行する競技者の前輪最前部から、追い越しをする競技者の前輪最前部までの12m（ドラフトゾーン）に入って、20秒以内に追い越しをしなければなりません（25秒以内に追い越せなかった場合は一旦ドラフトゾーン外に下がってください）。また、追い越された選手は速やかにドラフトゾーン外に下がってください。◎キープレフトの原則に従って走行してください。キープレフト違反は、ブロッキング行為とみなされる場合があります。
- ◎バイクフィニッシュ後は、ご自身の指定ラックまでバイクは押して進み、所定のバイクラックに架け終わってからヘルメットのストラップを外してください。
- ◎制限時間までにバイクを終了できない場合、選手はその時点で競技終了となります。計測用アンクルバンドは近くにいる審判員に渡してください。

■ ラン競技

- ◎キープレフトを厳守してください。
- ◎エイドステーションはランコースに2カ所用意します。早めに水分補給をするなど脱水症状対策をお願いします。また、使用したコップは、その場で投げ捨てず所定のゴミ箱に捨ててください。放棄すると海に落下し、回収できないゴミとなる可能性があります。ご協力ください。
- ◎ラン周回不足の場合、フィニッシュ後のコース復帰はできません。
- ◎制限時間までにランを終了できない場合、選手はその時点で競技終了となります。審判員の指示にしたがって、計測用アンクルバンドを審判員に渡してください。

■ その他

- ◎熱中症に注意してください。水分補給はしっかり早めにとるようにしてください。
- ◎無理せず安全第一でレースを楽しんでください。体調不良と感じたら、勇気を持ってリタイア（アンクルバンドを審判員に手渡し）することも大切です。
- ◎スイムのフォールススタート等の違反はT1でタイムペナルティ、それ以外はランコースのペナルティボックスでタイムペナルティを適用します。
- ◎刺青（タトゥー）は、隠さなくてもルール上出場できますが、周囲への配慮等、ご協力をお願いします。

東京都トライアスロン選手権大会2025 スタートリスト

選手権【男子】

スイムキャップ：白

レースNo.	氏 名	よみがな	日本選手権ブロック選	国スポ予選	YOB	所 属
1	玉崎 稜也	たまぎき りょうや	東京	東京都	1998	株式会社小泉
2	浅沼 一那	あさぬま かずな	東京	東京都	2005	国士舘大学・東京ヴェルディ
3	大山 輝向	おおやま ひなた	東京		2003	日本体育大学
4	山根 慧希	やまね けいき	東京		2003	明星大学
5	外山 高広	とやま たかひろ	東京	東京都	1983	東京ヴェルディ
6	武田 空我	たけだ くうが		東京都	2003	東海大学
7	梅田 祐輝	うめだ ゆうき	東京	東京都	1985	東京ハイリッジレーシング
8	金子 奏一朗	かねこ そういちろう	東京		1984	
9	油井 牧志	ゆい まきし	東京		2005	日本体育大学トライアスロン部
10	井上 一輝	いのうえ かずき	東京		1982	東京ヴェルディ
11	高木 弥瑠	たかき わたる	東京	新潟県	2004	国士舘大学
12	有賀 哉人	あるが かなと	東京	長野県	1997	TK EUROS
13	本木 蔵人	もとき くらうど	東京	東京都	2005	日本体育大学
14	山下 龍	やました りょう	東京	東京都	2005	日本体育大学
15	長谷川 大翔	はせがわ ひろと	東京		2004	東海大学
16	山本 稜弥	やまもと りょうや	東京		2001	タナチョー・東京ヴェルディ
17	下田 優斗	しもだ ゆうと	東京	東京都	2004	亜細亜大学
18	相崎 隆成	あいざき りゅうせい	東京	新潟県	2005	日本大学
19	山浦 信	やまうら しん	東京	長野県	2006	日本大学
20	笠原 大康	かさらは ひろやす	東京	新潟県	1976	SUNNY FISH/立正大付属中高教
21	松井 麟太郎	まつい りんたろう	東京		2006	日本体育大学
22	岡本 貫立	おかもと かんたつ	東京		2003	
23	宮下 陽翔	みやした はると	東京		2003	東海大学BOMBERS
24	村田 賢太郎	むらた けんたろう	東京	東京都	1994	
25	妹尾 元気	せのお げんき	東京	東京都	1990	アリーディ
26	阿久津 将	あくつ まさし	東京	東京都	1991	MAESTRO
27	関 麟太郎	せき りんたろう	北信越	新潟県	2004	新潟大学・アクシートトライアスロンチーム
28	菰澤 由吏	にらさわ ゆうり	北信越	新潟県	2001	アクシートトライアスロンチーム
29	平石 祥汰	ひらいし しょうた		新潟県	2003	同志社大学体育会トライアスロン部
30	山浦 健	やまうら けん		長野県	2003	立命館大学
31	丸山 一樹	まるやま かずき		長野県	2002	
32	高野 真志	たかの まさし	北信越	長野県	1996	長野県トライアスロン協会
33	碓氷 大樹	うすい たいき		長野県	2003	
34	藤代 舜真	ふじしろ きよま	東京		2004	日本体育大学
35	川久保 直希	かわくぼ なおき			1989	奈良県トライアスロン協会
36	俣野 広弥	またの ひろや			2002	立命館体育会トライアスロン部
37	林田 悠希	はやしだ ゆうき			2004	同志社大学
38	鹿ノ子 恭平	かのこ きょうへい			2003	日本大学
39	清水 賢	しみず けん			1997	

選手権【女子】

スイムキャップ：青

レースNo.	氏 名	よみがな	日本選手権予選	国スポ予選	YOB	所 属
41	中山 彩理香	なかやま さりか	東京	東京都	2000	アクサスホールディングス
42	佐藤 佳子	さとう よしこ	東京	東京都	1993	東京ヴェルディ
43	瀬戸 郁美	せと いくみ	東京	長野県	2002	株式会社H&H・SUNNY FISH
44	島崎 茉央	しまざき まお	東京	東京都	2004	日本体育大学
45	柳原 咲	やなぎはら さき	東京	東京都	2004	日本体育大学
46	正垣 水梨	まさがき なり	東京		2005	日本体育大学
47	久保埜 南	くぼの みなみ	東京		1997	
48	加来 奈津子	かくなつこ	東京	東京都	1984	チームケンズ
49	甲斐 彩花	かい さいか		東京都	2003	日本体育大学
50	野口 花音	のぐち かのん	東京		2004	日本体育大学
51	高木 実穂	たかぎ みほ	北信越		1997	
52	関 桃子	せき ももこ		新潟県	2006	福島大学
53	白井 未来	しらい みき		新潟県	2004	順天堂大学
54	圓谷 爽夏	つぶらや さやか		長野県	2004	立命館大学トライアスロン部
55	中村 祥代	なかむら さちよ			1994	アリーディ
56	張 綺文	ちゃん ちーうえん			1998	アリーディ

東京・海の森トライアスロン2025 スタートリスト

W1-1 スタンダード 男子			スイムキャップ：桃	
レースNo.	氏 名	よみがな	YOB	都道府県
61	土屋 昊大	つちや こうた	2005	京都府
62	尾花 連都	おばな れんと	2004	東京都
63	青木 波琉	あおき はる	2004	千葉県
64	佐藤 亘晟	さとう こうせい	2003	東京都
65	千葉 悠貴	ちば ゆうき	2003	東京都
66	都築 佑亮	つづき ゆうすけ	2002	千葉県
67	朴 俊榮	ぱく じゅんよん	2001	東京都
68	岡村 啓吾	おかむら けいご	2001	千葉県
69	山口 圭亮	やまぐち けいすけ	2001	東京都
70	木内 悠斗	きうち ゆうと	2000	東京都
71	佐藤 匠	さとう たくみ	1999	東京都
72	市川 大喜	いちかわ だいき	1998	埼玉県
73	村井 浩人	むらい ひろと	1998	東京都
74	木村 朱門	きむら しゅもん	1998	神奈川県
75	坂本 龍	さかもと りゅう	1997	東京都
76	小林 弘典	こばやし ひろのり	1997	東京都
77	八代 大智	やしろ だいち	1997	神奈川県
78	高木 太希	たかぎ たいき	1996	東京都
79	高橋 友裕	たかはし ともひろ	1996	東京都
80	城戸 莉雄	きど りお	1996	東京都
81	阿部 拓希	あべ ひろき	1996	東京都
82	青木 大哉	あおき だいや	1995	埼玉県
83	永田 聖人	ながた まさと	1995	埼玉県
84	高政 侑也	たかまさ ゆうや	1995	東京都
85	若菜 和彦	わかな かずひこ	1994	神奈川県
86	五十川 陸斗	いそがわ りくと	1994	神奈川県
87	銭亀 秀紀	ぜにがめ ひでき	1993	東京都
88	鈴木 康介	すずき こうすけ	1993	埼玉県
89	深澤 溪	ふかさわ けい	1992	東京都
90	吉田 有佑	よしだ ゆうすけ	1991	千葉県
91	高原 翼	たかはら つばさ	1991	東京都
92	林 晃一	はやし こういち	1991	長崎県
93	カビス 健人	かびす けんと	1990	東京都
94	坂巻 佳祐	さかまき けいすけ	1990	埼玉県
95	原 尚人	はら なおと	1989	東京都
96	牧野 一成	まきの かずなり	1989	東京都
97	浅見 元	あさみ はじめ	1989	埼玉県
98	伊藤 勇磨	いとう ゆうま	1988	東京都
99	虻川 真澄	あぶかわ ますみ	1988	東京都
100	増原 雄太郎	ますはら ゆうたろう	1987	東京都
101	阿部 裕泰	あべ ひろやす	1987	東京都
102	保坂 憲司	ほさか けんじ	1987	千葉県
103	中村 貞和	なかむら さだかず	1987	東京都
104	松本 淳生	まつもと あつお	1987	東京都
105	香川 淳	かがわ あつし	1987	東京都
106	今枝 佑介	いまえだ ゆうすけ	1986	東京都
107	谷内 祐介	やち ゆうすけ	1986	東京都
108	榎田 大輔	えのきだ だいすけ	1985	東京都
109	松澤 郁夫	まつざわ いくお	1985	東京都
110	市ノ川 隆久	いちのかわ たかひさ	1985	神奈川県
111	市川 隼	いちかわ はやと	1985	東京都
112	岩佐 貴之	いわさ たかゆき	1985	埼玉県
113	小畑 翔悟	こばた しょうご	1985	東京都
114	山口 尚己	やまぐち なおき	1985	神奈川県
115	小栗 孝之	おぐり たかゆき	1985	埼玉県
116	村山 昇	むらやま のぼる	1984	東京都

レースNo.	氏 名	よみがな	YOB	都道府県
117	林 稚憲	はやし まさのり	1984	東京都
118	榎木 厚介	えのき こうすけ	1984	東京都
119	田邊 悠	たなべ はるか	1984	神奈川県
120	嶋田 雅史	しまだ まさし	1983	埼玉県
121	甲斐 修平	かい しゅうへい	1983	東京都
122	福地 康正	ふくち やすまさ	1983	栃木県
123	武田 一洋	たけだ かずひろ	1983	東京都
124	袁島 和浩	みのしま かずひろ	1983	神奈川県
125	田崎 慎平	たざき しんぺい	1983	東京都
126	富岡 穰	とみおか ゆたか	1983	東京都
127	杉本 学	すぎもと まなぶ	1983	神奈川県
128	本橋 良祐	もとはし りょうすけ	1982	東京都
129	牛坂 伸也	うしざか しんや	1982	東京都
130	佐藤 基	さとう もとい	1982	東京都
131	小林 之維	こばやし ゆきまさ	1981	東京都
132	野田 農	のだ みのり	1981	東京都
133	山中 一義	やまなか かずよし	1981	神奈川県
134	内田 大輔	うちだ だいすけ	1981	東京都
135	三村 篤志	みむら あつし	1981	千葉県
136	高橋 悟	かたはし さとる	1980	東京都
137	川村 賢史	かわむら まさふみ	1980	東京都
138	赤間 正	あかま ただし	1980	神奈川県
139	佐藤 茂則	さとう しげのり	1979	東京都
140	中川 敦司	なかがわ あつし	1979	神奈川県
141	内海 貴之	うつみ たかゆき	1979	神奈川県
142	星野 光男	ほしの みつお	1979	神奈川県
143	石田 真啓	いしだ まさひろ	1979	東京都
144	庄司 正昭	しょうじ まさあき	1979	東京都
145	小林 研介	こばやし けんすけ	1978	東京都
146	山口 直哉	やまぐち なおや	1978	東京都
147	藤原 陽一	ふじわら よういち	1978	千葉県
148	永松 聡一郎	ながまつ そういちろう	1978	東京都
149	高田 友則	たかだ とものり	1977	東京都
150	河村 玲	かわむら あきら	1977	神奈川県
151	嶋田 弘之	しまだ ひろゆき	1977	東京都
152	田中 佳孝	たなか よしたか	1977	東京都
153	谷津 哲平	やつ てっぺい	1976	東京都
154	松浦 裕幸	まつうら ひろゆき	1976	神奈川県
155	佐々 竜太郎	ささ りゅうたろう	1976	東京都
156	九矢 政史	くや まさし	1976	埼玉県
157	山本 慎也	やまもと しんや	1976	東京都
158	川嶋 淳	かわしま じゅん	1976	東京都
159	黒石 晃介	くろいし こうすけ	1976	千葉県

W1-2 スタンダード 男子			スイムキャップ：橙	
レースNo.	氏 名	よみがな	YOB	都道府県
160	中島 智宏	なかじま ともひろ	1975	東京都
161	高橋 豪一	たかはし ひでかず	1975	東京都
162	増田 佳輔	ますだ けいすけ	1975	埼玉県
163	湯井 篤志	ゆい あつし	1975	埼玉県
164	井上 勉	いのうえ つとむ	1975	神奈川県
165	金長 則之	きんちょう のりゆき	1975	東京都
166	松橋 正人	まつはし まさと	1975	東京都
167	浜本 洋次	はまもと ひろつぐ	1975	東京都
168	花本 朗	はなもと あきら	1975	東京都
169	木代 雅彦	きしろ まさひこ	1975	東京都
170	中山 普義	なかやま ひろぎ	1975	東京都

レースNo.	氏 名	よみがな	YOB	都道府県
171	釈迦野 亮	しゃかの りょう	1975	東京都
172	山田 雅紀	やまだ まさのり	1974	東京都
173	高橋 祐一郎	たかはし ゆういちろう	1974	東京都
174	木村 琢磨	きむら たくま	1974	埼玉県
175	海瀬 隆太郎	かいせ りゅうたろう	1974	東京都
176	筒井 貴之	つつい たかゆき	1974	東京都
177	大和田 英明	おおわだ ひであき	1974	神奈川県
178	住友 一	すみとも はじめ	1973	神奈川県
179	菅原 敦史	すがはら あつし	1973	東京都
180	林 荘一	はやし そういち	1973	東京都
181	瀬戸 克彦	せと かつひこ	1973	東京都
182	ファルコナー ジョナサン	ふあるこなー じよなさん	1973	神奈川県
183	久保 伸英	くぼ しんえい	1973	東京都
184	相木 隆宏	あいき たかひろ	1972	東京都
185	池田 征央	いけだ ゆきお	1972	東京都
186	吉澤 昭夫	よしざわ あきお	1972	東京都
187	松下 大介	まつした だいすけ	1972	神奈川県
188	菊地 英豪	きくち えいごう	1972	東京都
189	田中 宏侍	たなか こうじ	1972	東京都
190	篠田 悟	しのだ さとる	1972	東京都
191	川野 健二	かわの けんじ	1972	東京都
192	集貝 友栄	ためがい ともはる	1972	千葉県
193	沖津 英雄	おきつ ひでお	1972	東京都
194	藤田 守宏	ふじた もりひろ	1972	千葉県
195	内田 勝久	うちだ かつひさ	1972	神奈川県
196	石塚 英樹	いしづか ひでき	1972	埼玉県
197	澤田 拓人	さわだ たくひと	1972	東京都
198	白石 敏雄	しらishi としお	1971	東京都
199	上野 芳正	うえの よしまさ	1971	千葉県
200	若林 文和	わかばやし ふみかず	1971	東京都
201	糸井 聖一	いとい せいいち	1971	東京都
202	山崎 浩康	やまざき ひろやす	1971	神奈川県
203	佐藤 貴幸	さとう たかゆき	1971	神奈川県
204	小林 和典	こばやし かずのり	1970	群馬県
205	縄田 憲司	なわた けんじ	1970	東京都
206	井口 武司	いぐち たけし	1970	東京都
207	浅野 貴之	あさの たかゆき	1969	愛知県
208	永井 克明	ながい かつあき	1969	埼玉県
209	岡山 泰史	おかやま やすし	1969	東京都
210	福田 将之	ふくだ まさゆき	1969	神奈川県
211	小寺 克征	こでら かつゆき	1969	神奈川県
212	小松 伸弘	こまつ のぶひろ	1969	東京都
213	淡路 航也	あわじ こうや	1969	東京都
214	本郷 孝二郎	ほんごう こうじろう	1969	東京都
215	西村 孝浩	にしむら たかひろ	1969	東京都
216	出井 宏明	いでい ひろあき	1969	東京都
217	大國 博英	だいこく ひろひで	1969	千葉県
218	松岡 伸太	まつおか しんた	1969	東京都
219	松浦 正裕	まつうら まさひろ	1968	神奈川県
220	佐藤 浩二	さとう こうじ	1968	群馬県
221	金井 由光	かない よしみつ	1968	東京都
222	大森 潤	おおもり じゅん	1968	東京都
223	志田 祐	しだ たすく	1968	茨城県
224	竹島 博行	たけしま ひろゆき	1968	埼玉県
225	奥山 奥士	おくやま おくし	1968	東京都
226	鈴木 宣雄	すずき のぶお	1968	茨城県
227	本田 忠晴	ほんだ ただはる	1968	山形県
228	田中 総介	たなか そうすけ	1967	東京都
229	菊森 佳幹	きくもり よしと	1967	茨城県
230	家住 英樹	いえずみ ひてき	1967	東京都
231	加藤 莊十郎	かとう そうじゅうろう	1967	神奈川県
232	林宝 謙治	りんぼう けんじ	1967	埼玉県

レースNo.	氏 名	よみがな	YOB	都道府県
233	佐久間 通友	さくま ゆきとも	1967	埼玉県
234	田之頭 宏明	たのがしら ひろあき	1967	東京都
235	高木 裕二	たかぎ ゆうじ	1967	埼玉県
236	本間 学	ほんま まなぶ	1967	神奈川県
237	平田 晃	ひらた あきら	1967	神奈川県
238	小川 不二夫	おがわ ふじお	1967	東京都
239	只木 浩二	ただき こうじ	1967	東京都
240	小林 俊輔	こばやし しゅんすけ	1966	東京都
241	鈴鴨 孝喜	すずかも こうき	1966	東京都
242	笛田 昭彦	ふえた あきひこ	1966	東京都
243	田島 史雄	たじま ふみお	1966	東京都
244	内田 英良	うちだ ひでお	1966	東京都
245	内山 善雄	うちやま よしお	1966	東京都

W1-3 スタンダード 男子

スイムキャップ：黄

レースNo.	氏 名	よみがな	YOB	都道府県
246	山本 慈朗	やまもと じろう	1965	千葉県
247	一矢 好彦	いちや よしひこ	1965	東京都
248	杉原 弘人	すぎはら ひろと	1965	東京都
249	野間 秀樹	のま ひでき	1965	神奈川県
250	榛澤 尚武	はんざわ しょうぶ	1965	東京都
251	佐々木 裕一	ささき ゆういち	1965	埼玉県
252	佐々木 裕一	ささき ゆういち	1965	埼玉県
253	齋藤 浩一	さいとう こういち	1965	神奈川県
254	木崎 英樹	きざき ひでき	1965	東京都
255	千葉 篤志	ちば あつし	1964	東京都
256	薦田 敏博	こもだ としひろ	1964	東京都
257	大川 秀明	おおかわ ひであき	1964	東京都
258	熊木 敏	くまき さとし	1964	東京都
259	大坪 隆	おおつば たかし	1964	埼玉県
260	滝澤 雅人	たきざわ まさと	1964	埼玉県
261	日下部 朋久	くさかべ ともひさ	1963	千葉県
262	眞鍋 俊彦	まなべ としひこ	1962	東京都
263	石崎 雅人	いしざき まさひと	1962	千葉県
264	小山 智	こやま さとる	1962	東京都
265	山下 茂樹	やました しげき	1962	神奈川県
266	工藤 哉	くどう はじめ	1961	神奈川県
267	幸村 秀生	こうむら ひでお	1961	千葉県
268	田中 晴彦	たなか はるひこ	1961	東京都
269	長谷川 貴也	はせがわ たかや	1961	神奈川県
270	初鹿 裕康	はつしか ひろやす	1961	東京都
271	藤崎 徳弘	ふじさき のりひろ	1960	千葉県
272	秤屋 尚生	はかりや ひさお	1960	千葉県
273	森 哲	もり さとし	1960	茨城県
274	灘波 博司	なんば ひろし	1959	香川県
275	大島 昇	おおしま のぼる	1958	埼玉県
276	百木 丈達	ももき たけさと	1958	東京都
277	澤田 貴司	さわだ たかし	1957	東京都
278	京谷 信一朗	きょうや しんいちろう	1957	東京都
279	生田 哲	いくた てつ	1956	東京都
280	直 修司	なお しゅうじ	1955	東京都
281	畑中 泰二	はたなか たいじ	1954	埼玉県
282	堀井 健司	ほりい けんじ	1952	東京都
283	平川 政治	ひらかわ まさはる	1952	東京都
284	小嶋 健司	こじま けんじ	1950	東京都
285	佐藤 修三	さとう しゅうぞう	1950	東京都
286	甲田 明	こうだ あきら	1950	東京都
287	生井 信男	なまい のぶお	1948	東京都
288	峰田 正隆	みねた まさたか	1943	東京都

W1-3 スタンダード 女子

スイムキャップ：黄

レースNo.	氏 名	よみがな	YOB	都道府県
289	五十嵐 ひなた	いからし ひなた	2003	神奈川県
290	森 友紀	もり ゆき	2000	東京都
291	Indigo Stifel	いんでいご すていふえる	1995	東京都
292	門脇 香子	かどわき きょうこ	1992	茨城県
293	秋山 恵美	あきやま めぐみ	1991	神奈川県
294	小西 洋恵	こにし ひろえ	1988	埼玉県
295	小山 道子	おやま みちこ	1987	茨城県
296	堀 夏子	ほり なつこ	1987	東京都
297	井出 智子	いで ともこ	1987	東京都
298	野口 美甫	のぐち みほ	1985	東京都
299	市川 典子	いちかわ のりこ	1983	東京都
300	福田 仁美	ふくた ひとみ	1982	埼玉県
301	岩尾 珠希	いわお たまき	1981	東京都
302	西川 美ゆき	にしかわ みゆき	1978	東京都
303	梅田 智子	うめだ ともこ	1977	東京都
304	北見 玲衣子	きたみ れいこ	1976	東京都
305	中村 薫	なかむら かおる	1974	東京都
306	本澤 実央	ほんざわ みお	1973	埼玉県
307	西内 宮佳江	にしうち みかえ	1971	東京都
308	加藤 知子	かとう ともこ	1969	東京都
309	春日 伊都子	かすが いつこ	1968	東京都
310	一ノ関 亜紀	いちのせき あき	1968	東京都
311	高澤 由美	たかざわ ゆみ	1967	千葉県
312	薦田 美香	こもだ みか	1966	東京都
313	太田 陽子	おおた ようこ	1965	神奈川県
314	米谷 協子	よねたに きょうこ	1965	東京都
315	菊池 美奈	きくち みな	1963	東京都
316	生井 佳奈子	なまい かなこ	1963	東京都
317	青木 みどり	あおき みどり	1956	東京都
318	嶋田 芳子	しまだ よしこ	1955	東京都

W1-3 スタンダード リレー

スイムキャップ：黄

レースNo.	氏 名	よみがな	YOB	担 当	チーム名
601	藤野 隆太	ふじの りゅうた	1966	スイム	Team HAYAMA BASE 2
	鈴木 かおる	すずき かおる	1971	バイク	
	原田 直和	はらだ なおかず	1975	ラン	
602	塩出 詩歩	しおで しほ	1996	スイム	チームココマックス
	岩間 湧大	いわま ゆうた	1999	バイク	
	島田 剛佳	しまだ たけよし	1974	ラン	
603	宮前 慶一	みやまえ よしかず	1982	スイム	M・S・I PUBLIC
	佐々木 克幸	ささき よしゆき	1984	バイク	
	飯塚 大輔	いいづか だいすけ	1986	ラン	
604	前坂 知之	まえさか ともゆき	1984	スイム	娘の笑顔つかみ隊
	高嶺 寛己	たかみね ひろき	1984	バイク	
	内田 貞輔	うちだ ていすけ	1982	ラン	
605	幸坂 健太郎	こうさか けんたろう	1977	スイム	Team HAYAMA BASE 3
	岡本 俊介	おかもと しゅんすけ	1978	バイク	
	小山 耕平	こやま こうへい	1995	ラン	
606	瀬川 かおり	せがわ かおり	1972	スイム	楽しくランランチーム
	阿部 忠順	あべ ただよし	1973	バイク	
	戸塚 正明	とつか まさあき	1994	ラン	

W2-1 スプリント 男子

スイムキャップ：緑

レースNo.	氏 名	よみがな	YOB	都道府県
319	横溝 泰秀	よこみぞ やすひで	2006	東京都
320	北島 智史	きたじま さとし	2003	滋賀県
321	渡邊 大智	わたなべ だいち	1997	東京都
322	ウォレン エリス	うおれん えりす	1997	東京都
323	金子 慶也	かねこ けいや	1996	千葉県
324	竹内 友哉	たけうち ともや	1995	東京都
325	廣井 翼	ひろい たすく	1994	埼玉県
326	能丸 将	のうまる まさる	1994	東京都
327	ヘンデン 真之介	へんでん しんのすけ	1993	東京都
328	大沢 拓也	おおさわ たくや	1992	東京都
329	浅田 明	あさだ あきら	1991	東京都
330	大西 健太	おおにし けんた	1991	神奈川県
331	妹尾 元氣	せのお げんき	1990	東京都
332	中山 順司	なかやま じゅんじ	1990	東京都
333	三浦 翔太	みうら しょうた	1988	東京都
334	會澤 伶王	あいざわ れお	1987	茨城県
335	伊藤 希	いとう のぞみ	1985	東京都
336	谷口 知広	たにぐち ともひろ	1985	東京都
337	宮本 謙	みやもと ゆずる	1983	東京都
338	高橋 哲也	たかはし てつや	1981	神奈川県
339	鈴木 啓太	すずき けいた	1979	東京都
340	竹原 智威	たけはら ともたけ	1977	東京都
341	河合 孝俊	かわい たかとし	1976	東京都
342	山口 俊輔	やまぐち しゅんすけ	1976	埼玉県
343	田上 英治	たがみ えいじ	1976	埼玉県
344	沼田 貴俊	ぬまた たかとし	1975	神奈川県
345	飯島 隆介	いいじま りゅうすけ	1974	東京都
346	トープ ランドン	とーぶ らんどん	1974	東京都
347	古澤 新也	ふるさわ しんや	1973	東京都
348	福澤 将浩	ふくざわ まさひろ	1973	東京都
349	岩波 守	いわなみ まもる	1973	東京都
350	生井 和平	なまい かずひら	1972	東京都
351	藤村 幸彦	ふじむら ゆきひこ	1972	神奈川県
352	角谷 啓太	かくたに けいた	1971	東京都
353	戸塚 英邦	とつか ひでくに	1971	東京都
354	伊藤 泰寿	いとう やすとし	1970	東京都
355	可児 鉄哉	かに てつや	1969	愛知県
356	仲村 哲也	なかむら てつや	1969	神奈川県
357	宅島 孝喜	たくしま こうき	1969	東京都
358	堀越 和彦	ほりこし かずひこ	1969	千葉県
359	島田 容男	しまだ やすお	1969	東京都
360	鹿ノ子 直樹	かのこ なおき	1968	埼玉県
361	岡部 稔	おかべ みのり	1968	東京都
362	浅沼 哲雄	あさぬま てつお	1968	神奈川県
363	中野 伸一	なかの しんいち	1967	神奈川県
364	新堀 隆章	しんぼり たかのり	1967	神奈川県
365	杉澤 正也	すぎさわ まさや	1966	東京都
366	佐瀬 勝洋	させ かつひろ	1966	東京都
367	中西 賢介	なかにし けんすけ	1965	栃木県
368	高木 敏夫	たかき としお	1965	東京都
369	葉山 秀彦	はやま ひでひこ	1965	東京都
370	境 広志	さかい ひろし	1965	東京都
371	井形 繁雄	いがた しげお	1965	神奈川県
372	佐藤 英規	さとう ひでき	1964	東京都
373	吉岡 朋昭	よしおか ともあき	1963	東京都
374	山田 浩司	やまだ こうじ	1963	東京都
375	小川 主 主	おがわ もとし	1962	東京都
376	弘前 正善	ひろさき しょうぜん	1961	埼玉県
377	伊藤 一弥	いとう かずや	1961	東京都
378	亀田 尚	かめだ たかし	1961	東京都
379	百塚 爲靖	ひゃくづか ためやす	1956	東京都
380	倉島 勝治	くらしま しょうじ	1955	神奈川県
381	沖村 政則	おきむら まさのり	1953	東京都
382	傍士 卓朗	ほうじ たくろう	1951	東京都
383	大橋 徹	おおはし とおる	1947	神奈川県

W2-1 スプリント 女子

スイムキャップ：緑

レースNo.	氏 名	よみがな	YOB	都道府県
384	三上 真奈	みかみ まな	1995	東京都
385	矢吹 一恵	やぶき かずえ	1987	東京都
386	磯部 郷美	いそべ さとみ	1986	東京都
387	永宮 友子	ながみや ともこ	1980	東京都
388	小出 麻紀子	こいで まきこ	1975	千葉県
389	相馬 ゆうき	そうま ゆうき	1973	東京都
390	宮野 真樹	みやの まき	1971	東京都
391	新井 磨里子	あらい まりこ	1970	群馬県
392	鈴木 香	すずき かおり	1966	東京都
393	VONDEROSTEN BEATE	ふおんであおすてん べあーて	1963	東京都
394	三浦 康子	みうら やすこ	1960	東京都

W2-1 スプリント 高校生

スイムキャップ：緑

レースNo.	氏 名	よみがな	YOB	都道府県
395	須田 裕大	すだ ゆうだい	2009	東京都
396	佐藤 圭悟	さとう けいご	2009	東京都
397	泉田 秀太朗	いずみだ しゅうたろう	2008	東京都
398	白輪 青空	しらわ そら	2008	神奈川県
399	宇山 琉	うやま れん	2008	神奈川県
400	仙田 拓也	せんた たくや	2008	神奈川県
401	鹿又 馴介	かのまた しゅんすけ	2008	埼玉県
402	田上 遼佑	たがみ りょうすけ	2008	埼玉県
403	碧山 悠夏	あおやま ゆうな	2008	東京都
404	高橋 駿介	たかはし しゅんすけ	2008	東京都
405	油井 得人	ゆい えると	2007	神奈川県
406	手塚 悠道	てづか はるみち	2008	神奈川県

W2-1 スプリント リレー

スイムキャップ：緑

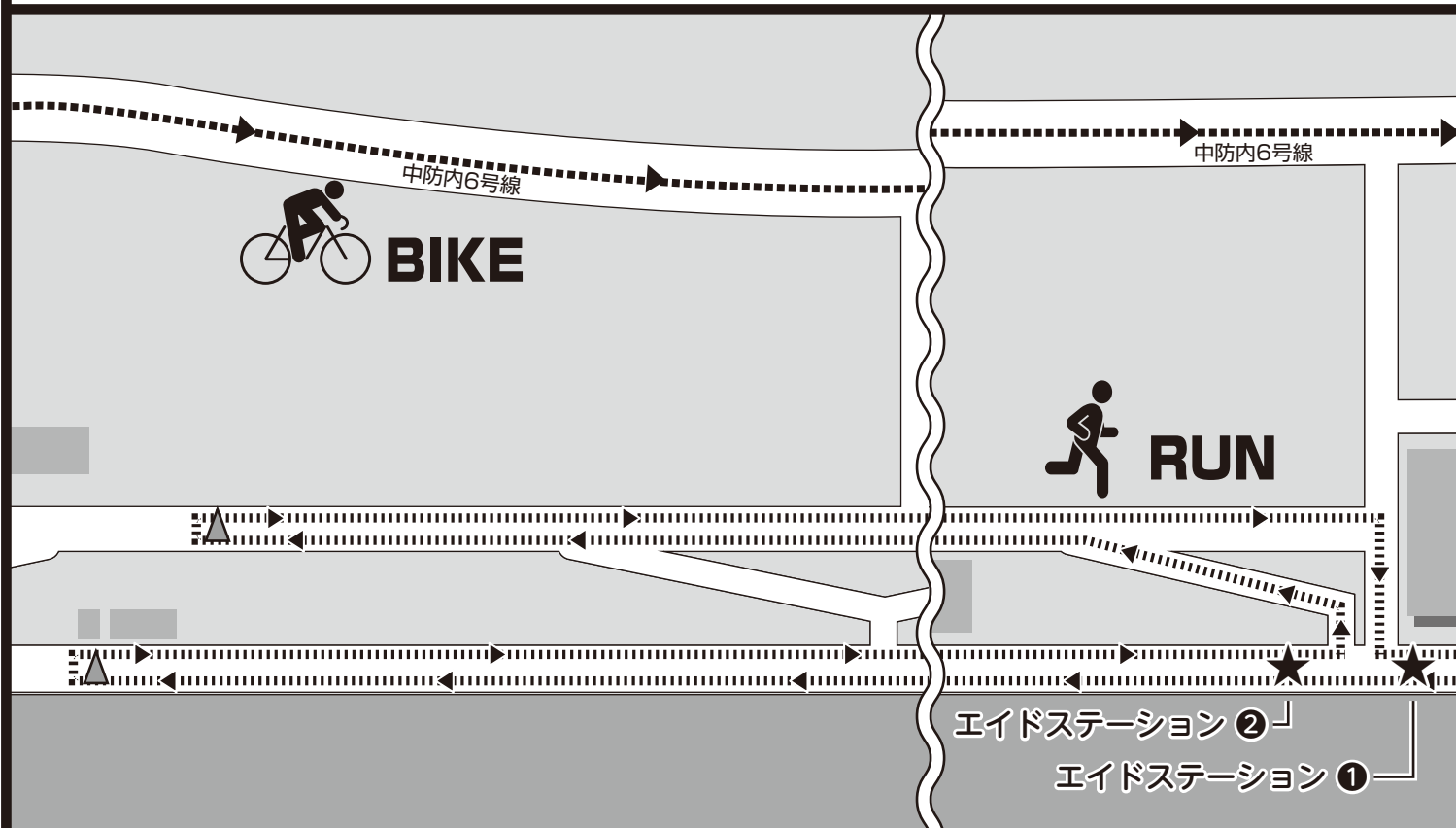
レースNo.	氏 名	よみがな	YOB	担 当	チーム名
607	濱田 裕一	はまだ ゆういち	1961	スイム	夏のサンタ
	前田 琴	まえだ こと	1993	バイク	
	坂田 健二	さかた けんじ	1986	ラン	
608	藤野 真由美	ふじの まゆみ	1971	スイム	Team HAYAMA BASE 1
	諸橋 峰雄	もろはし みねお	1973	バイク	
	岡本 真澄	おかもと ますみ	1982	ラン	

W2-2 スプリント パラ

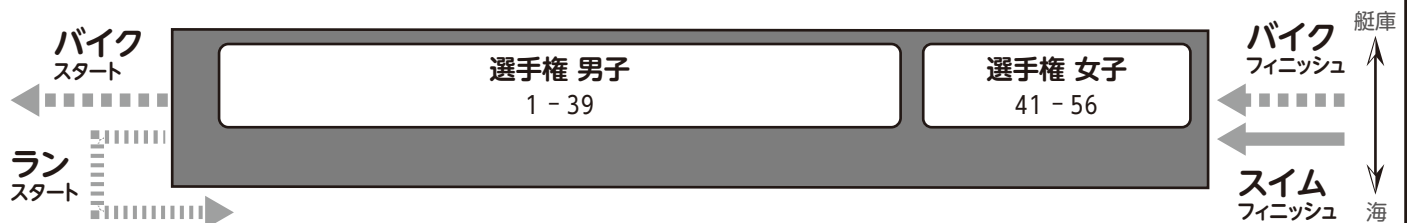
スイムキャップ：赤／白

レースNo.	氏 名	よみがな	YOB	都道府県	カテゴリー
609	中山 賢史朗	なかやま けんしろう	1990	東京都	TRI2
610	牧田 真一郎	まきた しんいちろう	1977	東京都	TRI4
611	高橋 勇市	たかはし ゆういち	1965	東京都	TRI6
	亀井 健太	かめい けんた	1981	神奈川県	ガイド
612	杉田 好士郎	すぎた こうしろう	1976	千葉県	TRI6
	古俣 光晴	こまた みつはる	2002	千葉県	ガイド

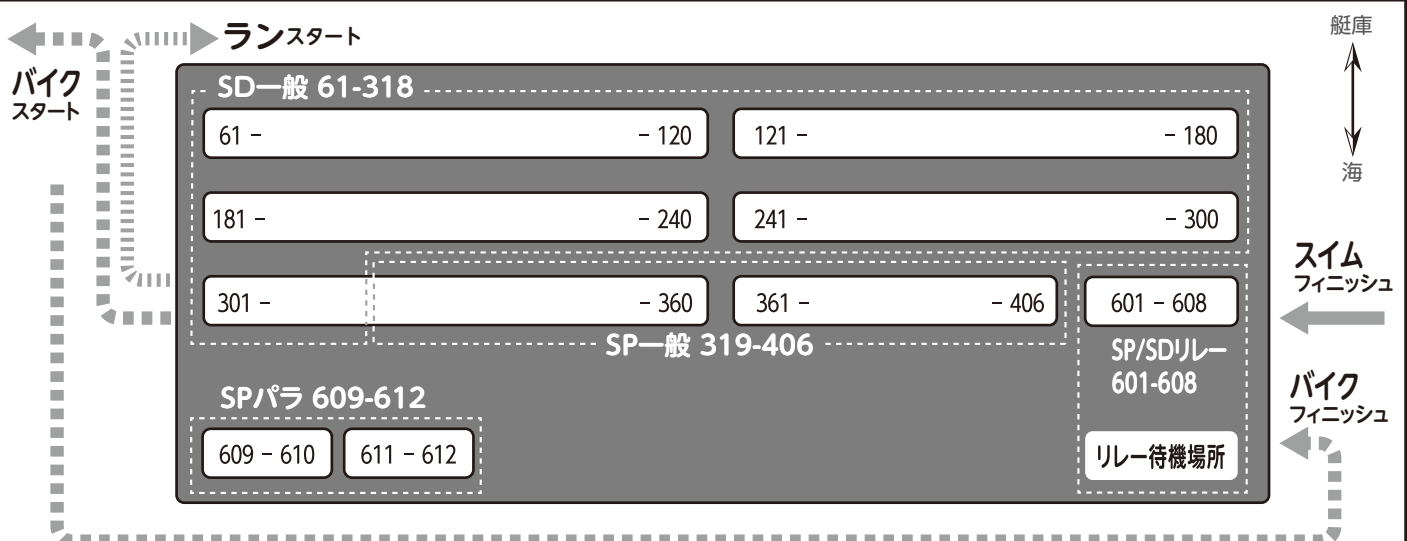
大会本部周辺図

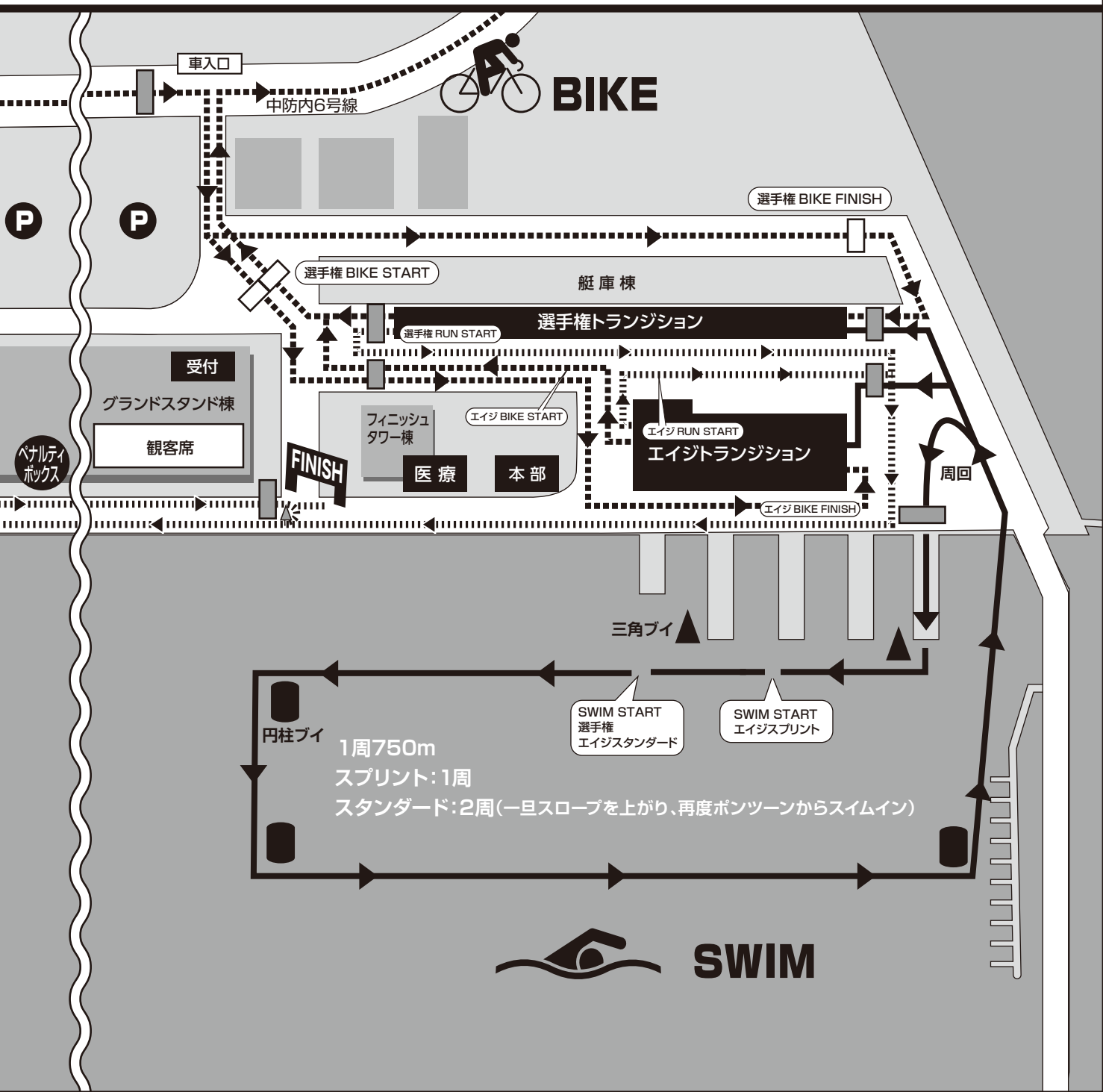


選手権トランジションエリア 拡大図



エイジトランジションエリア 拡大図





SWIM →→→→→

BIKE - - - - -

RUN ||||| →

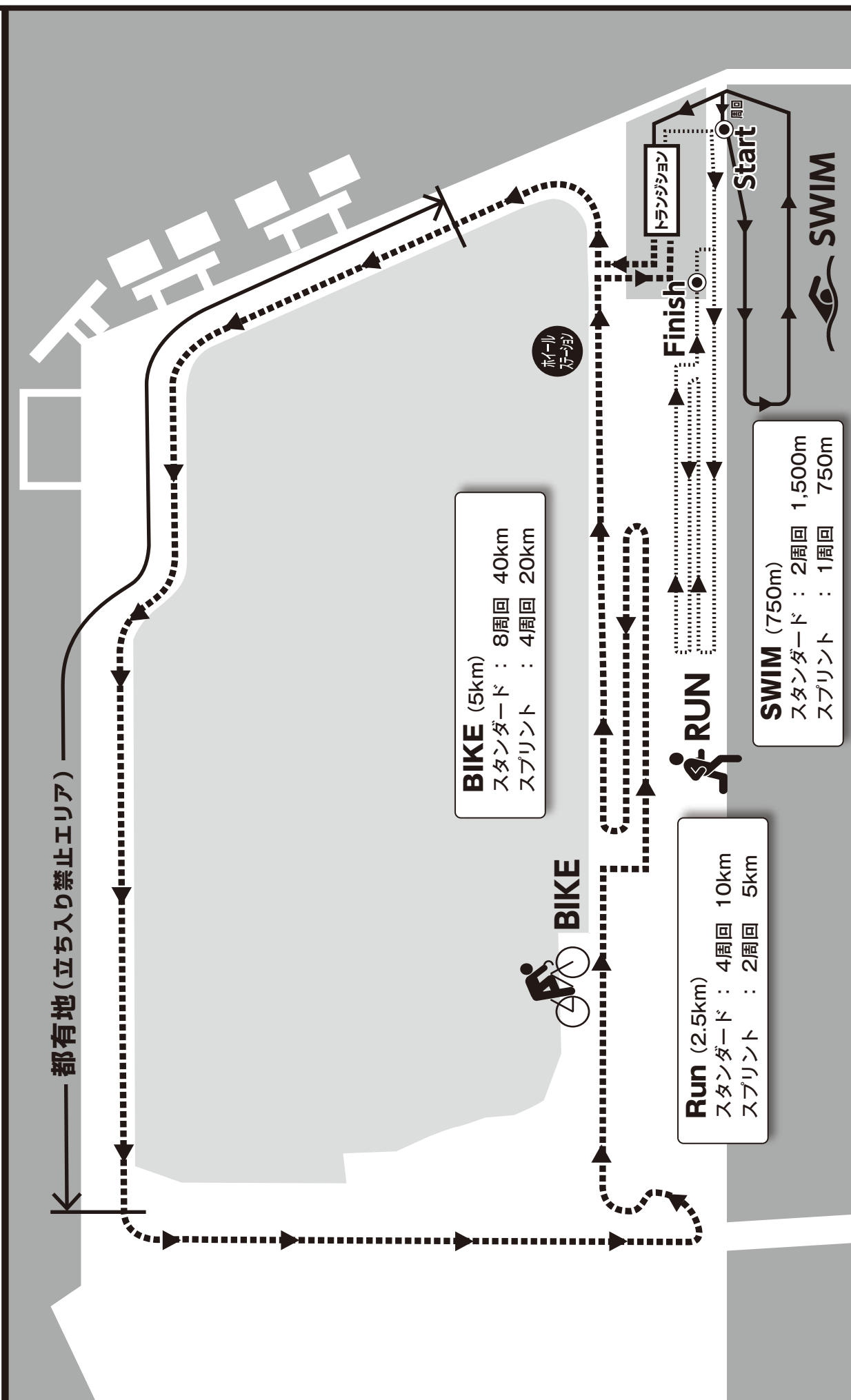
折り返し ▲

エイドステーション ★

計測マット ■

バイクマウント
デismount □

全競技コース図



会場周辺MAP



海の森水上競技場（東京都江東区海の森3丁目6番44号）

交通アクセス

- 会場にはお車あるいはバスでお越しください。自転車や徒歩での来場は出来ない立地となります。ご注意ください。
- 駐車場は300台以上駐車可能（駐車料金 500円／台 終日）です。なお、大会当日は選手の駐車料金は無料です。
- 国際展示場駅もしくは有明駅から会場まで、無料シャトルバス（1時間に1本）がごございます。（発着はジャガー/ランドローバー有明店前から）

大会当日は、交通規制の関係でシャトルバスの運行は以下の通りとなります。

6/15 無料シャトルバス 大型バス(路線バス型)

	国際展示場駅 発	海の森 発
6	30 50	30 50
7	10 30 50	10 30
8		
9		
10		
11		
12		
13	30 50	10 30 50
14	10 30	10 40
15	00	10 40
16	00	40
17	00	45
乗場	ジャガー・ランドローバー有明店前の一般乗降所	グラウンドスタンド棟 前

※上記無料シャトルバスに自転車を携行される場合は、必ず輪行袋に入れて、ご自身で手に持ってご乗車ください。バスの乗車人数には限りがございますので、会場には時間に余裕をもってお越しください。

※大型バスは約70人乗り、但し輪行自転車含めると30人程度。



一般社団法人

東京都トライアスロン連合

【大会ホームページ】 <https://www.msपो.jp/uminomoritr/>

【大会に関する問い合わせ】 TEL.03-6279-0572(月～金曜日／13～17時) tmtu@tokyo.email.ne.jp

【当日の緊急連絡先】 090-9973-5744(TMTU大村) 090-3313-8374(TMTU川添) 090-8807-0500(TMTU片倉)